

『さわやかカップ長谷川メモリアル教育リーグ』

大会競技運営細則

1. 各チームの選手・監督・コーチは、統一されたユニフォームを着用し、試合中は原則としてユニフォームを着用することとする。
2. 但し、ランナーコーチおよび投手がランナーに出た場合の、ジャンパー着用は認める。
3. 選手・監督・コーチの履物は、運動靴又は、ゴムスパイクとする。
4. ヘルメット・レガース・プロテクター・捕手用ヘルメットは必ず着用のこと。
5. チームは試合開始 30 分前に集合すること。
6. (1)試合は 7 回戦とする。
(2)1 時間 25 分の制限時間を定め、新しいイニングには入らない。
(3)予選リーグはブロック制の総当たり戦とする。予選リーグ終了後、トーナメント戦をおこな
い、
順位決定を行う。
(4)リーグ戦はコールドゲームなし、同点の場合は引き分けとする。
(5)トーナメント戦は、点差によるコールドゲームは、3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差と
する。規定時間を過ぎ同点の場合、下記方式を取る。(決勝戦はコールドゲーム無)
☆ 前の回の最終打者が 1 塁ベースに入り☆ その前の打者が 3 塁に入り、1 アウトとし
☆ 継続打順で攻撃を行う。
時間に関係なく決着がつくまで行う。選手の交代を認める。
(6)試合成立は 4 回を終了時（後攻が勝っているときは 4 回先行終了時でも成立）もしくは、
1 時間経過時（後攻が勝っていれば 2 回表終了、3 回表終了でも成立）
(7)試合は出場選手の健康を考慮し 1 日 2 試合以内とする
7. 投手板と本塁間は 16m とし、塁間は 23m ・本塁と二塁間は 32.5m とする。
8. 各グラウンドにより、特別にルールを決める場合もある。
9. 使用球は J 号球（公認球）とする。
10. ファールボールは落ちた側のベンチがとりに行くこと。
11. ランナーコーチはヘルメットを着用し、登録選手がおこなうこととする。
12. 試合前のシートロックは後攻より 5 分間ずつとする。
13. 投球練習は初回 7 球以内、2 回目は 3 球以内とし、投球交代時は 7 球以内とする。
14. 選手の交代は、必ず監督が球審に申し出ること。
15. 抗議は監督と主将・当該選手のみとする。
16. 投手の投球について、変化球を投げないように指導徹底する。
17. 同一ボークについては、1 回目注意・指導、2 回目以降はボークとする。
(1 回目の不正投球により、攻撃側に不利な状況になったときはノーカウントとする。)
18. インフィールドフライは有りとする。
19. 選手の危険予防および健康管理について、チームにおいて十分留意すること。
事故に対する責任は事務局として関知しない。

平成 16 年 12 月 1 日制定
平成 19 年 11 月 24 日改定
平成 22 年 4 月 18 日改定